



東京開業ワンストップセンターは、会社設立に必要な各種手続きにワンストップで対応する相談窓口です。2017年には渋谷と丸の内にはサテライトセンターも開設、より利用しやすくなりました。相談にみえる外国人の方も多く、今回はそんな外国人起業家のお一人、チャールズ・ハリスさんにお話を伺いました。

利用者リレーインタビュー

自動車への情熱

米軍の一員として、初めて日本に来たのは2001年。日本のことをあまり知らなかった当時は、1年だけ滞在をしてすぐに本国へ帰るのではと思っていました。しかし3ヵ月後には最初の契約を更新、その後も軍との契約を更新し続け、いつの間にか6年の歳月がたっていました。その間に、夜間学校にも通いました。

6年が過ぎた頃、東京のテンブル大学で学士を取得。2007年からは軍に所属せず、米軍から業務を請け負う仕事のスタイルを確立。その後は、施設管理の分野でアメリカ政府の職員として働き始めました。職員として働く安定した生活も、仕事自体もとても楽しかったのですが、もっと自分の情熱に従って正直に生きたいと思うようになっていました。

日本で最初の車を買ったときからずっと車いじりが趣味で、車に対する情熱を切らせたことはありません。時には熱中して車に時間を使いすぎることありますが、そのおかげで、部品の取り付けといった車の整備や、日本でのパーツの買い付けにも詳しくなりました。私の会社の事業は新品・中古の車やパーツのセールス関連です。まだ詳しいことは話せませんが、車やパーツを安価供給するマーケットから、需要のあるところへと供給路線を確立するビジネスです。

ビジネスコンシェルジュ東京 (BDCT) から紹介された TOSBEC

起業家のためのプログラムをウェブ上で探していると、外国人のビジネスサポートを行っているビジネスコンシェルジュ東京 (BDCT) のページを見つけました。実際に BDCT のオフィスを訪ねた後、同じフロアにあった TOSBEC にも立ち寄ったところ、BDCT よりも登記等の開業手続きに特化したサービスを提供しているのを知りました。

TOSBEC の無料サービスと丁寧な対応

BDCT は外国人創業人材受入促進事業 (通称: スタートアップ・ビザ) の申請時、TOSBEC は会社を作るために必要な書類の作成時、非常に助けになりました。起業準備のために申請できる、通称スタートアップ・ビザの申請は自分一人では難しいプロセスでした。申請書は10ページほどあり、日本語で書く必要がある上、履歴書から申請の目的、経理資料など、エクセルの技術も必要です。私は基本的な日本語は話せますが、BDCT からの親身なサポートは、とてもありがたかったですね。

BDCT もそうですが、TOSBEC の優れているところは、相談が無料で受けられることです。ビザ単体の相談だけでも、プロのコンサルタントからアドバイスを受けるのはお金がかかるもの。加えて、起業時の手続きを別会社に依頼する場合には、さらに費用がかかります。もちろん、プロの事業者手数料を支払って一括で書類作成を任せられることもできますが、自分で書類を揃えて TOSBEC に持っていけば、ミスのチェックから申請まで一箇所でサポートしてくれます。TOSBEC のスタッフがいつも親身になって、笑顔でサポートしてくれたのは印象的でした。



Profile

株式会社東京シーエスエル CEO
Charles Harris

アメリカ合衆国出身のチャールズ・ハリスさんの日本暮らしは15年以上。アメリカ軍の一員として来日した後、アメリカ政府の職員として勤務。2018年の夏に東京開業ワンストップセンター (TOSBEC) で車の輸出入に関する会社を立ち上げ、現在は本格的にオペレーションを始めるべく準備中。



日本でビジネスを始める際に 気をつけること



本当に情熱を燃やせることを見つけるまで、自分の日々の仕事をやめないことが大事です。日本で起業を考えているなら、最低1年は日本語の勉強をお勧めします。私の日本語はまだ未熟ですが、日本語が少しも話せなければ、もっと起業は難しくなっていたはずですよ。

東京開業ワンストップセンター
(TOSBEC)

住所 東京都港区赤坂1-12-32

アーク森ビル JETRO 本部7階

電話 03-3582-8352 FAX: 03-5561-4123

URL <http://www.seisakukikaku.metro.tokyo.jp/onestop/japanese/top/>